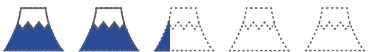


1. 建物概要

建物名称	クミアイ化学工業株式会社新2号棟研究所新築工事	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★
------	-------------------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点	取組み度	評価
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.5	/5	 ふつつ 
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.1	/5	 ふつつ 
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.3	/5	 がんばろう 
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	1.4	/5	 がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア（平均）を5点満点で表示 します。（スコア1.0＝1点、スコア5.0＝5点）		評価 凡例	
		よい 4 点以上 	ふつつ 3 点以上 
			がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

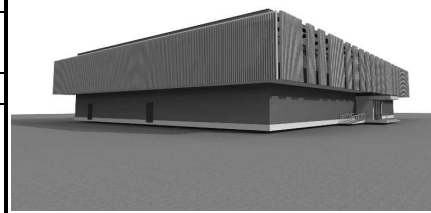
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目		
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	3.5	
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ・日射遮蔽型ペアガラスサッシを使用し開口部の温熱環境の向上 ・縦型ルーバーを設置し日射を制限	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	外皮性能 昼光利用設備 昼光制御 躯体材料の耐用年数 外壁仕上げ材の補修必要間隔 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 空調換気ダクトの更新必要間隔 空調・給排水配管の更新必要間隔 主要設備機器の更新必要間隔	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ・太陽光発電設備の設置	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ・厚75の断熱材を使用したサンドイッチパネルを外壁に採用 ・厚50の断熱材を屋上防水下地に使用 ・LED照明の採用。高効率空調機の導入。	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制	
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) 特になし	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒	
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善	
	“災害に強いすおか”の形成(Disaster)		得点	3.1
		■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ・非常用電源、太陽光発電設備の設置	Q-2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.4 2.4.1 2.4.2 2.4.3 2.4.4 2.4.5	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備
		“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点
		■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ・段差のない計画とし、多目的トイレ、エレベーター、スロープを設置	Q-2 1 1.1 1.1.3 3 3.1 3.1.1 3.1.2	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ
		■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特になし	Q-3 3 3.1	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	1.4	
	■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上) 特になし	Q-3 1 2 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ まちなみ景観への配慮 ㉔ 敷地内温熱環境の向上	
	■敷地外環境対策 (㉕持続可能な森林から産出された木材/㉖温熱環境悪化の改善) ・太陽光発電設備の設置	LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善	

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	クミアイ化学工業株式会社新2号棟	階数	地上2F
建設地	静岡県菊川市加茂字宮ノ西3360-1	構造	S造
用途地域	第二種住居地域(法第22条区域)	平均居住人員	60 人
地域区分	6地域	年間使用時間	420 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2025年2月10日
敷地面積	26,439 m ²	作成者	新貝真
建築面積	1,739 m ²	確認日	
延床面積	3,057 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.9 ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★ 環境品質 G 環境負荷 L	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0 音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3 機能性 耐用性 対応性	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.0 生物環境 まちなみ 地域性・
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2 建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7 水資源 非再生材料の 汚染物質	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4 地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合 研究施設につき室内環境においては外気の影響を受けにくい安定した環境を確保している 非常用電源を採用することで非常時でも使用できる施設とし OAフロア、地下ビットの採用でメンテナンス性が良い建物となっている これはCASBEE静岡(2021年SDGs対応版)による評価結果です。	その他 特になし	
Q1 室内環境 窓が設置できる事務室や会議室などには窓を設置し、自然光の取入れ、換気が可能 外気に接する外壁および屋根に断熱材を設置する他、床にも断熱材を設置	Q2 サービス性能 執務スペースは十分なスペースを確保し、OAフロアを採用することでレイアウトの変更に柔軟に対応 1階床下をビット形式にすることで設備配管のメンテナンス性を向上	Q3 室外環境(敷地内) 周囲の環境を考慮し落ち着いた外観と色彩を採用
LR1 エネルギー 省エネタイプの空調機器を採用 外壁の断熱材を十分な厚さを確保	LR2 資源・マテリアル 給水部の節水コマを採用	LR3 敷地外環境 騒音、振動を大きく出すものは使用しない 敷地内に十分な駐車スペースを確保

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される